



マーク：福田 常雄 氏

# ふじみ

## 第162号

令和2年4月1日

発行人  
責任者  
施設

社会福祉法人みちのく協会  
理事長 工藤和子  
特別養護老人ホーム富士見荘  
ケアハウスアーベイン八幡平  
松尾デイサービスセンター  
介護相談所陽だまり  
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定在宅介護支援事業所)  
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1  
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467  
E-mail fujimiso@rnac.ne.jp  
URL <http://www.rnac.ne.jp/~urbane/>

### 「新年度を迎えて」

社会福祉法人みちのく協会  
理事長 工藤和子



今年、これまでで最も降雪の少ない、温かな冬を過ごしました。季節が変容していることを肌で感じています。そんな中、飛び込んできたニュースが、中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症。アジアから欧州そして米国へと全世界規模で感染拡大を抑えています。日本は、国を挙げて感染拡大を抑えておりますが、季節柄、卒業式は自粛せざるを得ず、例年のように子どもたちの卒業を祝ってあげられず、とても残念に思っています。

また、私たちの仕事は、介護の必要な高齢者の生活を支える仕事であり、今回のウイルスは、その高齢者にとって重篤化を招く恐ろしいものです。特效薬が出来るまでは、職員が持ち込まないよう「手洗い・うがい・マスクの着用」の徹底と、私生活においても「密集・密閉・密接」を避ける生活を継続していかなければならないと考えております。

さて、今年度の事業は、以下の重点項目を基本軸として進めて参ります。

- 一、地域貢献事業の推進について
- ・生活支援体制整備事業は、昨年度「介護支援ボランティアポイントモデル事

業」を柏台小学校学区で試験実施いたしました。今年度は、他の地域でも試験実施を行い、将来的には、八幡平市内全域で実施できるよう実施検証を重ねます。

・一月十日に八幡平市・葛巻町・岩手町の三市町と当法人を含む社会福祉法人七法人とで「盛岡北部法人後見受任体制」の協定を結びました。皆さんと協働しながら、受任体制の整備を進めて参ります。

二、働きやすい職場づくりについて  
いよいよ、介護人材の不足が、すぐ足元まで迫ってきていることを実感しています。ボランティア、介護助手等、地域の皆さんのお力を頂きながら、今いる職員がこの仕事に「やりがい」を持てるよう、キャリアアップの仕組みを作っていきたくと考えています。

三、法人の中長期計画の策定について  
昨年、第一期中長期経営計画を策定しましたので、今年度は、抽出した課題に取り組み、今後、地域の福祉需要を任せられる法人、地域から継続的に必要とされる法人となれるよう実施・検証・改善を重ねて、安定した事業運営を行って参ります。

最後に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願ってやみません。

## 介護職員初任者研修課程 前期講座を開講します！

これから迎える身体機能の変化、ケアの方法や介護サービスがどうなっているかなど…学んでみませんか。もちろん、ヘルパーさんとして働くための資格を得ることができます。

受講期間：令和2年6月5日(金)～令和2年10月15日(木)  
(全22回、受講時間130時間)

お問い合わせ：0195-78-2455 担当：大金・山本





特別養護老人ホーム

# 富士見荘

☎(0195)  
78-2455

## 救急救命講習会

二月二十八日、年に一度の救急救命講習会。今年も救急救命講習の指導者研修を受けた職員が、消防士さんながらにAEDの使い方を指導。施設の利用者様は、二十四時間介護職員がついており、看護職員も毎日、体調管理をしていますので、使用する機会は、ほとんどありませんが、いざという時のために訓練しています。



## 「鬼は外、福は内」

突然発生した新型コロナウイルス感染症のため、一月に予定していた「初笑い会」が中止に。しかし、職員の徹底した「手洗い・うがい・マスクの着用」でユニット行事の開催が許され、初笑い会に登場するはずだった「大黒様」と節分の「鬼」がコラボ。ホールでの開催より親近感があった、たいそう喜ばれました。



## 「面会規制の中の彼岸供養」

こちらも、新型コロナウイルス感染症の影響で、ご入居者様の参加は最小限に抑えて、みちのく協会のお墓に入っている方の彼岸供養を鷲蓮寺の葛住職様に行っていただきました。新型コロナウイルスの感染で世界が騒然とする中、ほんの少し、心が穏やかになる時間となりました。





地域密着型介護老人福祉施設

# はらからの里

☎(0195) 68-7880

今年はインフルエンザ、ノロウイルスだけでなく、新型コロナウイルスが世界中で流行し不安な日々が続いています。はらからの里では感染予防のため面会を全面的に禁止しており、利用者様、御家族様にはご迷惑をおかけしております。

## 松野保育所節分行事

二月三日に松野保育所で節分行事が行われました。感染予防のため利用者様は参加せず、職員が鬼に扮して子供たちを脅かしに行きました。子供たちは手作りのお面をかぶり、元気に歌を歌っていましたが、鬼が出てきた途端泣きながら逃げ回ったり、たくましく豆を投げたりとても賑やかになりました。そのあと一緒に写真を撮りましたが、子供たちは鬼に近くに寄る時も恐る恐るで、緊張が抜けない様子でした。それでも最後は手を振って見送ってくれ、私たち職員も楽しい時間を一緒に過ごすことができました。松野保育所の皆さん、ありがとうございました。



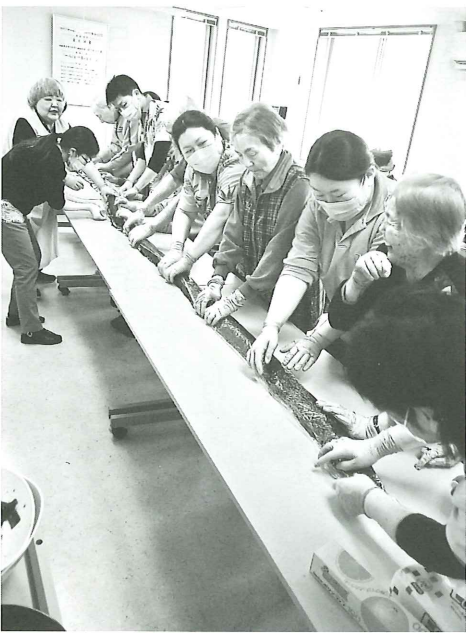
## はらからてい行事食

感染症の流行る時期は面会や慰問行事に制限がかり、どうしても施設の中にこもりがちになります。少しでも利用者様に楽しんでいただきたいと、栄養士を中心に施設内で行事食を作っています。

一月十六日は水木団子を作りました。色とりどりの団子を付ける作業はなかなか難しく、皆さん集中しながら行っていました。

三月三日はひな祭りです。桜餅を手作りし、おやつ時間に振る舞いました。「私たち女の子の日だね」と笑いながら女性陣が盛り上がりました。

三月四日は利用者様、職員の共同作業で長い太巻き寿司を作りました。「ギネス記録を目指そう! (笑)」と意気込み、長さ六mの太巻き寿司が完成しました。長さだけでなく具も卵、かんぴょう、ほうれん草、カニかまぼこ、マグロなど豪華で、巻くのは一苦労でしたが綺麗なおいしい太巻きができました。





# 松尾デイサービスセンターだより

☎(0195) 78-3720

令和二年目の春は新型コロナウイルスにより各方面に影響があり心配な事ばかりですが、自分の体を守るためには基本である手洗い、うがい、早めの休養が大事ですね。

松尾デイサービスでも通常の対応に加え乗車前に検温と手指消毒を行っております。家族様の協力も頂きスムーズに運行ができることに感謝いたします。

## 新春どっぴき大会

一月五日から十一日まで年始め恒例のどっぴき大会を行いました。

利用者様の人数分の紐に鳴り物をつけてそれぞれ選んで頂きシャンシャンの音頭に合せて紐を引きます。利用者様同士で『どの紐が当たるべ』と作戦会議を練り『当たった〜。はずれた〜』と何度も歓声が上がりました。今年の福を願う行事でたくさんの方々が皆様に訪れると良いですね。



## 節分行事

一月二十六日から二月一日まで節分行事を行い、豆まきや鬼退治ゲーム等の楽しい時間を過ごして頂きました。また今年も二十八日は松野保育所、二十九日には寄木保育所、三十日には柏台保育所のかわいのお友達が慰問に来てくださり手踊りや歌を披露して下さい遊びを一緒に行い交流しました。

かわいらしい衣装の子供達を見て感動され、涙を浮かべる利用者様もいらつしました。

また、お礼にと利用者様が心を込めて一生懸命作って頂いた毛系の帽子のキーホルダーをプレゼントしました。保育所の先生方もとても喜んで頂きました。利用者様からお役に立ててうれしいとお言葉も頂きました。



## マッサージ

デイサービスでは昨年より、一ヶ月に二回、市内にお住まいの高橋孝子さんという方がマッサージ施術に来てくださっています。

始めのうちは声掛けしても『痛いんでねえか』としり込みされる利用者様もいらつしました。が、身体の気になる所のマッサージを受けながら、世間話や内緒の話等を聞いてもらい心身共にリフレッシュができてますますつきりされた表情が覗えます。

一回の施術で三名程度の施術ができますのでまだの方は楽しみにお待ちください。





リゾート型ケアハウス  
**アーベイン八幡平**  
 ☎(0195) 78-2710

「日々を重ねて」

ケアハウスアーベイン八幡平  
 施設長 箱石 裕

記録の上では、稀にみる暖冬といわれた季節も終わり、新しい年度を迎えました。

昨年十二月に、中国の武漢市で新型コロナウイルスの発生が報告されて以来、あつという間に全世界に流行し、日本においてもその影響にのみこまれて、国をあげてその対策に取り組んでおります。

そんな中であつて、当アーベイン八幡平においても、利用者の皆さん、そのご家族、出入りの業者の皆さんなど関係する多くの方々のご協力をいただきながら、検温・マスクの着用・手指の消毒など防疫の基本を緊張感を高めながら推進しております。

さて、令和元年度を振り返ってみますと、平成から令和へと元号が移り、変化の年でしたが、一方では、台風十五号や十九号に代表されるように災害の多い年でもありました。幸い、当アーベイン八幡平では大き

な影響を受けることなく、日々を重ねることができました。

令和元年度の実績の全ては、まだまだとまっておりますが、九月までの上半期におきましては、平均四十三・八人の方々が入居されており、その最高齢は九十九歳(男性)、最低年齢は六十六歳(女性)で、平均年齢八十五・九歳となっております。このうち、約半数の二十四名の方々が、何かしらの介護保険サービスを利用されております。

このような利用者の皆さまにどのようなにしたら「より住みやすい環境」を提供することができているのか、というのが大きな目標になっておりますが、その鍵は「日々を重ねること」と考えています。例えば毎日単位で取り組む体操、週単位で取り組む盛岡送迎、レクレーション倶楽部、隔週で取り組む西根送迎、布アト、月二回の合唱セミナー、月一回のお茶会などに加え、季節的に取り組む花見ドライブ、夏祭り、紅葉狩りドライブそしてクリスマスなど、毎年変わりなく進んでいる何の変哲もないと思われる行事の内容を吟味し、高めていくことで「より住みやすい環境の実現」に近づくことができるかと考えられるからです。

令和二年度においても、一日一日を大切にしながら「日々を重ねて」まいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



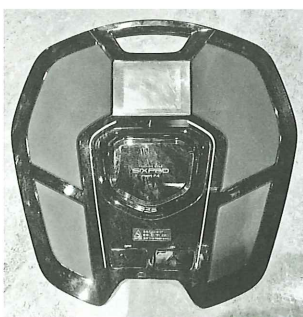
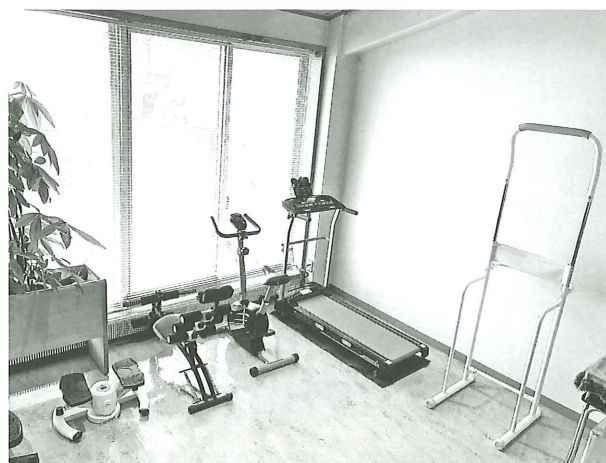
「強い体を作るために」

アーベイン八幡平では、健康な体づくりのために、様々な方面から取り組んでおります。

まず、筋力低下等を防止するため、健康器具の導入も行っております。ウォーキングマシーンは特に雪の多いこの地域にとっては重要となります。また、体型維持のためにも重要となります。

そして最近導入したのが、田代副施設長主導のもと、TVでもお馴染みの「シックスパッド フットフィット(SIXPAD FOOT FIT)」です。

目新しさもあり、入居者の皆様よりも職員の方が、行っているように感じられるのは、私だけでしょか。また、このような健康器具を使用しないものの、自分の健康管理のために、二階及び三階の入居者の方でエレベーターを使用せずに階段を使用して上り下りされる入居者の方もみられます。(遠藤)



# 愛

筆流

題字 関口作治氏

## 社会福祉法人 みるのく協会 基本理念

社会福祉法人みるのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心をこめた介護をいたします。

### 富士見荘の動き

1	30	面会規制実施 (コロナウイルス対策)
2	14	第三者評価訪問調査
	27	節分行事 (豆まき)
	28	施設内救急救命講習会
3	23	春彼岸供養

### 富士見荘利用者状況

(令和2年3月15日現在)

市町村	男	女	計
八幡平市	14	55	69
岩手町	0	2	2
その他市町村	0	3	3
合計	14	60	74

### 富士見荘入退居者状況

入居者	1月	2	(0)	退居者	2	(0)
	2月	1	(0)		2	(1)
	3月	3	(0)		1	(0)

※入居( )内は再入居。退居( )内は死亡

### 富士見荘短期入所生活介護

市町村	1月	2月	3月
八幡平市	281	278	269
他市町村	0	0	0
合計	281	278	269

### 配食サービス

人数	月	1月	2月	3月
利用者数		330	298	300



### 編集後記

一面の理事長の記事にありました「盛岡北部法人後見受任体制」協定式の模様です。

#### 盛岡北部成年後見ネットワーク事業 協定締結式 盛岡北部法人後見受任体制

八幡平市・盛岡市・岩手町・社福 西郷会・社福 松葉会・社福 みるのく協会・社福 安代会・社福 順心会・社福 日新福祉会・社福 尊陽会



少子高齢化を迎えるまち(八幡平市)で、  
どうやって暮らしていくか。  
もう一度、血の繋がりがよりも地の繋がりで  
支えあって生きていく「ムラ」の時代にタイ  
ムスリップかな…。温故知新の時ですね。

(松尾)

